

中学校版 テーマ6 ケータイ・ネットについて

【ねらい】

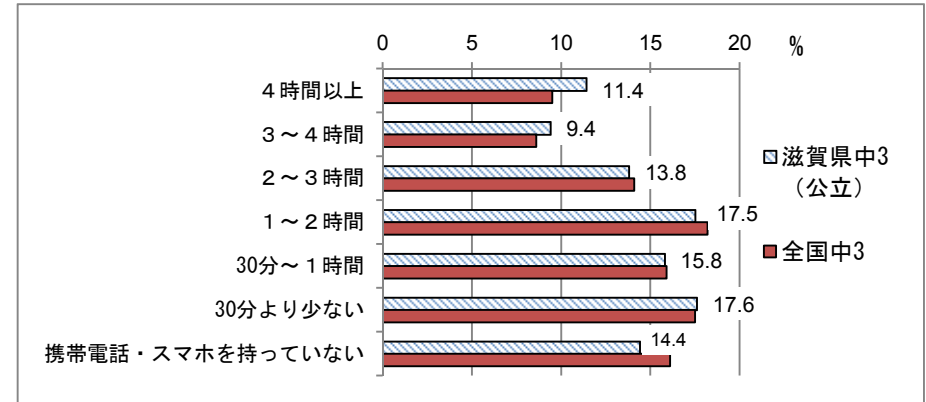
◇ケータイ（携帯電話・スマートフォン）やネットコミュニケーションは、親より子どものほうが多くの情報を持っているという家庭も少なくない。しかし、現実として中学生に関する様々な事件やトラブルが起きていることを踏まえ、ケータイやネットの特徴を見つめ直し、子どもたちの所持や利用についてどんなことが大切かを考える契機とする。

【活動の流れと支援のポイント】

1 自己紹介 および アイスブレイク	<p>○4～5人のグループをつくり、自己紹介をする。 （10人までであれば全体で話してもよい）</p> <p>○グループ編成の時には下記のような工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日順、ジャンケンで3回勝った順などで一重円になり人数ごとに区切る。 ・トランプやくじ引きを利用し班を決定する。 <p>○簡単な名札や席札をつくり、名前を覚えやすいようにする。</p> <p>○グループ内で進行役、記録役、発表役を各一人決める。</p>
2 テーマについて深める	<p>○ケータイやネットの良い面、悪い面についての考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シートのはじめの文および「ネット社会と中学生」のデータや事例を読み合い、考えるきっかけとする。 ・ワークシートに記入した考えを交流し合うことで、保護者としてしっかりと子どもをサポートしていかなければならないことを確認する。
3 語り合いの約束を確認する	<p>○語り合いに入る前に、約束を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここだけの話にする。（個人情報に関することについて） ・相手の考えを頭ごなしに否定しない。 ・自分だけが長く話すぎない。 ・発言を強要しない。
4 語り合い活動	<p>○親として気をつけたいことについて語り合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、ワークシートに記入したことを伝え合う。 ・知識の差が大きい分野なので、だれもが気軽に発言できるような雰囲気づくりが心がける。
5 資料により現状を知る	<p>○右ページの資料や危険性のわかる資料、最新のデータなどを示し、ケータイやネットの利用やトラブルについての現状を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピューター室等で実際にコンピューター等を使い、有害サイト等の現状を確認し合うのもよい。 ・専門的な話にはばかり流れないように気をつける。
6 まとめ	<p>○話し合いの中で参考になったことをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕があれば、数人に発表してもらおう。 ・シートのポイントについて確認し合う。
7 ふりかえり	<p>○話し合った内容をふりかえり、互いにお礼を言って話し合いを閉じる。</p>

【参考資料】

◇1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール・インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）



【平成29年度全国学力・学習状況調査 中学校調査】

◇保護者が子どもをネット危機から守るための7つの約束

- 1 大人も子どももルールやマナーを守ります**
大人もインターネットと携帯電話の活用に関するルールやマナーを守ります。
- 2 ネットで知り合った人とは会いません**
子どもには、ネットで知り合った人と合わせないようにします。
- 3 家庭のルールをつくります**
子どもと一緒に安全なネットライフのための家庭のルールをつくり、守ります。
- 4 いじめはしません、見逃しません**
ケータイいじめは絶対にさせませんし、見逃しません。

保護者と子どもが一緒に誓う

- 5 トラブルは大人に相談します**
インターネットや携帯電話のトラブルは、一人で悩まないで大人に相談するように日頃から話しておきます。
- 6 加害者にも被害者にもなりません**
子どもをネット上の加害者にも被害者にもしないように、家庭での予防教育に力を注ぎます。
- 7 大人の携帯電話を勝手に使いません**
子どもが大人の携帯電話を勝手に使わないよう十分注意します。

【財団法人マルチメディア振興センター「安心インターネットライフ★ガイドより」】